



# 第18回 「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2026年3月8日

小樽観光大学校

\*合格発表は下記のホームページでご確認できます。  
\*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。  
(制限時間90分)

問1

講座で述べた「まちづくり」という概念で最も正しいのは次のどれでしょう。

1. まちづくり組織に行政が入っていること
2. まちづくり組織に民間が入っていること
3. まちづくり組織に経済界が入っていること
4. まちづくり組織に政治家が入っていること

問2

小樽の昭和48（1973）年から令和5（2023）年の50年間で、まちづくり運動の成果といえるのは次のどれでしょうか。

1. 全国13位の人口を持つ都市に発展させた
2. 多くの銀行が支店を構える経済都市に発展させた
3. 物流基地から人流都市へ180度変革してきた
4. 高齢率の高さから福祉都市に変革してきた

問3

小樽のこれまでの「まちづくり観光」の説明で間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 多くのまちづくり運動が観光原石を発掘・錬磨してきた
2. 歴史的建造物を使いながら保存する小樽モデルが蓄積されてきた
3. 建物、ファッション、雑貨などを軸にして再生運動が蓄積されてきた
4. インターネットやSNSを中心に小樽観光情報が数多く発信されてきた

問4

観光を楽しむことができる日本人が増えた背景で間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 昭和30～48年の高度経済成長によって余裕が出来た
2. 年功序列や生涯雇用が定着した
3. 高齢化率向上によりお年寄りが暇を持て余した
4. 女性層の自立により男女共に旅行できる層が増えた

問5

小樽に観光客が訪れるようになった要因の交通網で間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 昭和46年の札幌バイパスの開通
2. 平成13年の札幌間の国道4車線化完成
3. 昭和47年の舞鶴・新潟からのフェリー航路開通
4. 電気自動車の普及

問6

小樽観光は歴史再生が牽引していると思われていますが、その主流として該当するのは次のどれでしょうか。

1. 近代の遺構
2. 縄文遺跡
3. 弥生遺跡
4. アイヌ文化

問7

小樽市が「小樽観光元年」としているのは次のどれでしょうか。

1. フェリーが開通した昭和47年
2. 運河が再整備された昭和61年
3. マイカル小樽が開業した平成11年
4. 北一硝子三号館が開業した昭和58年

問8

色内銀行街に金融資料館、小樽バイン、小樽運河ターミナル、似鳥美術館などの大型観光施設が誕生する背景として、その要因の一つとなったまちづくり運動は次のどれでしょうか。

1. 昭和53年からのポートフェスティバル
2. 昭和61年からのサマーフェスティバル
3. 昭和62年からの小樽ワインカーニバル
4. 元年からの小樽運河ロードレース

問9

「小樽雪あかりの路」は今回で第何回目を迎えたでしょうか。

1. 第21回
2. 第26回
3. 第28回
4. 第31回

問10

「小樽雪あかりの路」のオブジェ制作で原則使っていないものを1つ選びなさい。

1. 落ち葉
2. ロウソク
3. ペットボトル
4. 枝

問11

「小樽雪あかりの路」のロウソク群が照らそうとするものは何でしょうか。次の中から選びなさい。

1. 観光客
2. 市民
3. オブジェ
4. 街並み

問12

「小樽雪あかりの路」が目指すものは次のどれでしょうか。

1. 冬の小樽の一大イベント
2. 冬の小樽の集客イベント
3. 冬の小樽の若者のフェス
4. 冬の小樽の風物詩

問13

台湾からのボランティア団体の名称は？

1. Yoohao
2. 橙
3. OKOVO
4. eVol

問14

「小樽雪あかりの路」の現在の実行委員長は誰か？

1. 中村全博
2. 佐藤公亮
3. 西條文雪
4. 山口 保

問15

今回（2026年2月開催）の「小樽雪あかりの路」のメイン会場でないのは次のどれでしょうか。

1. 運河会場
2. 手宮線会場
3. 小樽芸術村会場
4. 都通り商店街会場

問16

今回、小樽芸術村会場の造成を主に担当したのは次のどの団体でしょうか。

1. 自衛隊
2. 海上保安庁
3. 郵便局
4. 観光協会

問17

令和7（2025）年度上期の小樽市の観光入込客数は、前年度比104%となり、8年ぶりに400万人を超えました。入込客数は次のどれでしょうか。

1. 413万4,100人
2. 415万4,100人
3. 417万4,100人
4. 419万4,100人

問18

令和7（2025）年も多くのクルーズ船が小樽港第3号埠頭へ寄港しました。寄港した実績数は次のどれでしょうか。

1. 23回
2. 25回
3. 30回
4. 33回

**問19**

次の3つは色内銀行街にある建物です。関連した語句の組み合わせで、番号内のA・B・Cすべて正しいものは何番でしょうか。(建物名は建築時)

- A) 三菱銀行小樽支店
  - B) 北海道拓殖銀行小樽支店
  - C) 第一銀行小樽支店
1. A) 大正11(1922)年建築    B) 田辺淳吉    C) ミュキソーイング<sup>⑭</sup>
  2. A) 大正11(1922)年建築    B) 小林多喜二    C) 矢橋賢吉
  3. A) 竹中工務店    B) 似島美術館    C) 渋沢栄一
  4. A) 清水組    B) 矢橋賢吉    C) アール・ヌーヴォー

**問20**

運河公園横に建つ北前船主の倉庫3棟をガイドしています。ガイド内容に間違いがあるのは次のどれでしょうか。

1. 倉庫正面に向かって右から、右近倉庫、広海倉庫、増田倉庫でいずれも北前船主が建てた倉庫です。
2. 右近倉庫は福井県南条郡南越前町出身の右近権左衛門が建てました。特徴としては大きな印が付いており、読み方は「いちぜんばし」といいます。
3. この3棟の建築年で古い順は、右近倉庫、広海倉庫、増田倉庫です。
4. これらの倉庫3棟は日本遺産「北前船」の構成文化財になっています。他にも、大家倉庫や小樽倉庫も日本遺産の構成文化財となっています。

## 記述式問題

### 記述問題 ①

明治から昭和初期にかけて物流基地として小樽は発展しました。その後、昭和後期からは物流都市から人流都市へ向けたまちづくり運動が盛んになり、観光運動が定着しました。そして今日では移住促進の運動が生まれはじめています。このような歴史の流れがある小樽への移住促進のアイデアと受け入れ対策を書きなさい。

〈まちづくり観光論より〉

### 記述問題 ②

「小樽雪あかりの路」が他の各地の「冬の行灯イベント」と違うところを2つあげながら、規定字数で説明しなさい。

〈観光資源論より〉

## 総合記述問題

小樽市は、令和7（2025）年6月、スキー場がある天狗山の山麓と、おたる水族館がある祝津地区の観光開発計画の策定に取り組むことを発表しました。

計画内容や時期についてはこれから議論していく段階ですが、人気のあるこれらの地区に将来、新たな観光施設や宿泊施設ができれば、観光客が集中している中心部が緩和され、観光客の新たな受け皿として期待されます。

そこで、この両地区が新たに観光開発されるとしたら、観光客にこれらの地区の魅力やどのような楽しみ方があるのかを提案しなさい。

\* 次の条件を満たす内容で書きなさい。

- ① 記述する内容がどちらの地区（天狗山、祝津）か明記すること。（両方でも可）
- ② 記述する内容は2地区に宿泊すると仮定し提案すること。（既存施設含む）
- ③ 昼と夜それぞれの楽しみ方を提案すること。（季節を条件とする提案も可）